

取扱説明書

DAYTONA

R21622①/④

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*本書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*本商品もしくは本商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

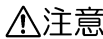
ブラストバリアー	適応車種	商品NO.
	REBEL1100（'21）	21622（スモーク） 21629（クリア）

■ご使用前に必ずご確認ください■

※ 本商品の使用をもって、本書と保証書記載の内容全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

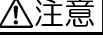
※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行なっております。内容をご理解のうえ、本書とレシートと一緒に保管してください。ご購入履歴が不明な場合は当社所定の保証を受けられません。あらかじめご了承ください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示しています。
	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示しています。

	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		禁止の行為であることを告げるものです。
	表記の注意を告げるものです。		その他の警告及び注意を告げるものです。

▲警告	- 本商品は太陽光を直接当てると、小さな領域に集光する光学的特性があります。そのためごくまれなケースですが、車両の他の部分に損傷を与える場合がありますので、直射日光があたったままの状態での駐車しないでください。 ※右イラストの様に車体後方から直射日光が当たる状態が最も集光の影響を受ける状態となりますので、ご注意ください。 ※やむを得ず直射日光が当たる場所に駐車する場合は、ブラストバリアーに傷の付きにくいタオルなどを掛けて直射日光が当たらないようにブラストバリアー全体をカバーしてください。 上記警告のガイドラインに基づいて、不注意によるいかなる損傷に対しても弊社では一切の責任を負いませんのでご了承ください。 - ガソリンやブレーキ液、アセトン、シンナーなどの化学物質がブラストバリアーに付着しないようにしてください。付着すると細かいヒビやキズ、クモリ、変形、ワレなどが生じます。付着してしまった場合は直ちに水で洗浄してください。 - 本商品は長期間使用すると、紫外線の影響や経年変化などによりブラストバリアー本体が、変色やクモリが発生する場合があります。前方の視界が悪くなった場合はそのまま使用せず、必ず新しいブラストバリアーと交換してください。また、車両の転倒やその他の影響によりブラストバリアーにキズやクモリ、歪み、ワレなどが発生した場合も同様に交換してください。	【危険！NG】 
●禁止		
●実施	- 走行前に各部の取付状態を点検（ブラストバリアーにガタはないか、風圧によって動くことはないか、ボルトやナットの緩みがないか）し、異常がある場合は必ず増し締めしてください。 - 車両装着後は走行フィーリングが変わりますので、必ず乗車感覚を確認してください。 - 暴風時や豪雨時、降雪時など危険な状況下では走行しないでください。 - 強風時は走行安定性が悪くなり、風の影響を受けやすく、降雨時は視界が悪くなりますのでスピードを控えて安全運転を行ってください。	

			
	• ブラストバリアー清掃の際には、洗車ブラシなどの使用や乾いた布での乾拭きはしないでください。キズが付き視界性が悪くなります。また、コンパウンドなどの研磨剤入りの磨き剤も使用しないでください。 • ブラストバリアー装着時は風などの影響を受けやすく、不安定な場所に駐車すると転倒の恐れがあります。また土の上など路面の柔らかい場所や傾斜した場所には、駐車しないでください。必ず固く安定した平坦地に駐車してください。		
	• 適合車両以外の車両には使用しないでください。 • パッケージ開梱時や商品取り扱い時にパッケージや商品の端面、突起部、バリなどで予期せぬケガや事故が発生する場合があります。取り扱いの際は保護手袋を使用するなど十分に注意してください。またエッジ部や突起部がある場合は適切な工具を使用して取除く処理を行ってください。 • 本商品を開梱の際は、構成部品や外観の不備、異常がないことを必ずご確認ください。万一お気付きの点がございましたら、ご使用前にお買い求め販売店へ速やかにご相談ください。未使用品以外での外観不良は保証対象外となります。 • 作業は周囲の安全を確保し、安全な場所で車両を安定させた上で行なってください。 • ハンドルを左右に切り、ブラストバリアーが車体に接触していないか確認してください。異常がある場合は取付位置を調整してください。 • ブレーキレバー、クラッチレバー及びスロットルが正常に作動することを確認してください。異常がある場合は取付位置を調整してください。 • ブラストバリアーを清掃する場合は、水を掛けながら柔らかい布かスポンジで優しく洗い、かたく水をしぼった清潔なタオル等で優しく拭きあげてください。（中性洗剤の使用は可能）		

注意



可燃性注意

・本商品はポリカーボネート製です。走行直後のエンジンやエキパイ、マフラー付近に近づけると変形します。また、ポリカーボネート自体も可燃性素材ですので火に近づけないでください。



その他

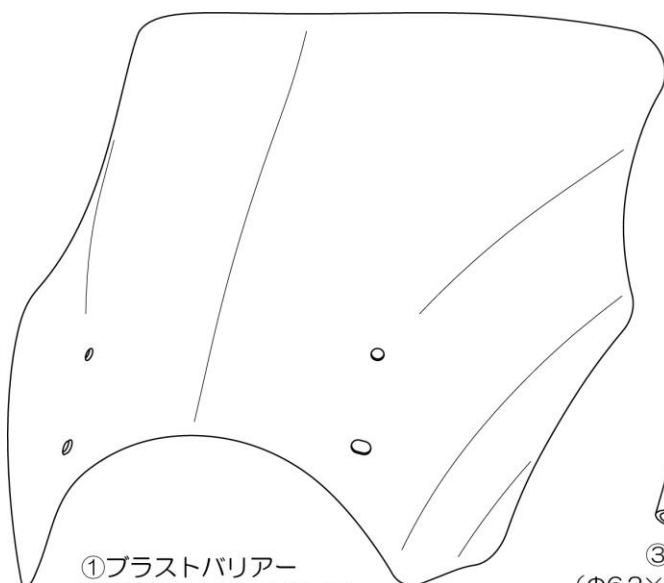
- ・本商品を取り付ける際は、車両にキズがつかないようにウエスなどで保護してから作業してください。
- ・本商品を取り付ける際には所定トルクで確実に締め付けてください。特にプラストバリアーを締め付ける際はオーバートルクに注意して取り付けてください。締め付けすぎるとプラストバリアーの破損や変形の原因となる場合がございます。※プラストバリアーの締め付けは構造上、トルク管理ができません。締め過ぎに注意して固定してください。
- ・本商品は、商品の製造方法と車体の組み付け個体差により、商品のカットラインと車体側のラインは完全には合いません。あらかじめご了承ください。
- ・本商品は純正状態を基準に設計しております。そのためハンドル周辺を変更されていると、取り付けできない場合がございます。
- ・アイドリング時や走行時にプラストバリアー本体が振動で振れる場合がありますが、異常ではありません。
- ・本商品の取り付け時に外した純正部品は紛失しないように十分にご注意してください。
- ・走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は商品の使用、または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談してください。
- ・本商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合がございます。また文中にご紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。
- ・【商品の手入れ方法】
⇒水をかけて表面のほこりや砂を洗い流した後、柔らかいスポンジ等で水と中性洗剤を含ませてやさしく洗ってください。洗剤は水で洗い流してください。シンナーや、溶剤を含む化学薬品等の使用は、変形、歪み、破損の原因となりますので絶対に使用しないでください。

本商品の特長

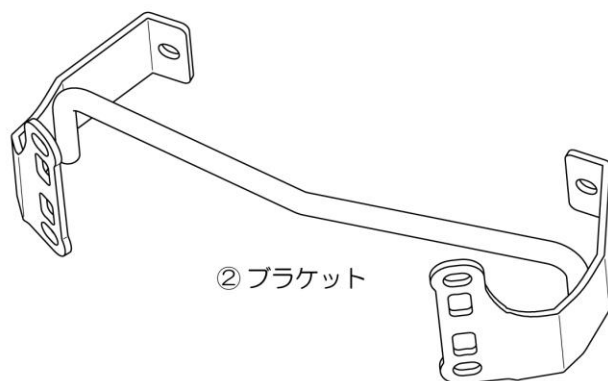
- ・エアロバイザーと専用ステーがセットになった車種専用キット。
- ・エアロバイザーの素材には衝撃に強く弾力性のあるポリカーボネート製を採用。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	プラストバリアー	※21622:スモーク	1	⑥	ロゼットワッシャ	M6	4
	プラストバリアー	※21629:クリア		⑦	フランジ付Uナット	M6	4
②	ブラケット		1	⑧	皿キャップスクリュー	M6×20	2
③	スペーサー	Φ6.2×Φ9×15L	2	⑨	皿キャップスクリュー	M6×25	2
④	平ワッシャ	M6	2	⑩	クッションラバー		2
⑤	キャップボルト	M6×30	2	⑪	ラバースペーサー		2



①プラストバリアー
※21622…スモークタイプ
※21629…クリアタイプ



②ブラケット



③スペーサー
(Φ6.2×Φ9×15L)



④平ワッシャ
(M6)



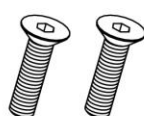
⑤キャップボルト
(M6×30)



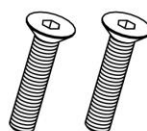
⑥ロゼットワッシャ
(M6)



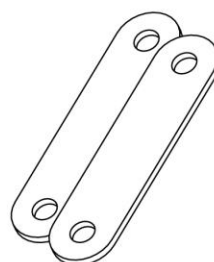
⑦フランジ付Uナット
(M6)



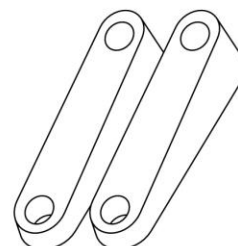
⑧皿キャップスクリュー
(M6×20)



⑨皿キャップスクリュー
(M6×25)



⑩クッションラバー



⑪ラバースペーサー

取付方法

【作業前の注意事項】

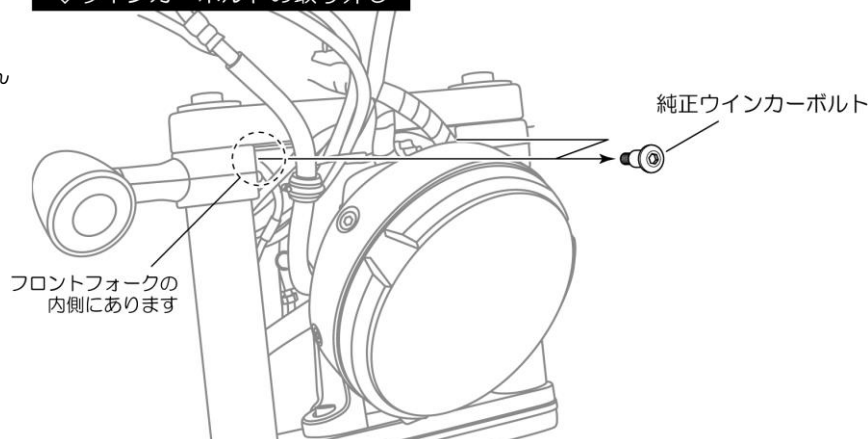
- 本取扱説明書は REBEL1100（21）の車両をベースにご説明しております。車両年式や排気量の違いにより、異なる取り付け方法になる場合がございます。この車両以外は本取扱説明書を参考にお取り付けをお願いします。
- 純正部品の取り外し、取り付けについては各メーカー発行のサービスマニュアルを参照して正しく行なってください。
- 作業を始める前に周囲の安全を確保し、安定した場所でリアスタンドやフロントブレーキロックなどを使い車両を安定させ車両の転倒や怪我などに十分注意して作業を行なってください。

01. ウィンカーボルトの取り外し

- 左右の純正フロントウィンカーを固定している純正ウィンカーボルトを取り外します。

※純正ウィンカーボルト（2本）は使用しません
失くさないよう大切に保管してください。

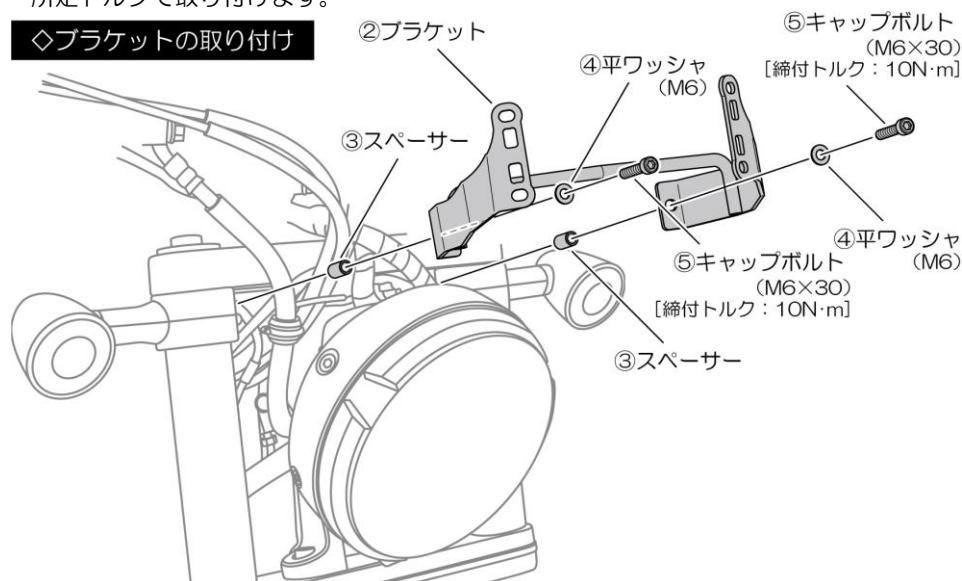
◇ウィンカーボルトの取り外し



02. ブラケットの取り付け

- 手順 01 で取り外した場所に②ブラケットを純正ウィンカーと一緒に取り付けます。
- イラストを参考に②ブラケットを③スペーサーと④平ワッシャ（M6）、⑤キャップボルト（M6×30）を使い所定トルクで取り付けます。

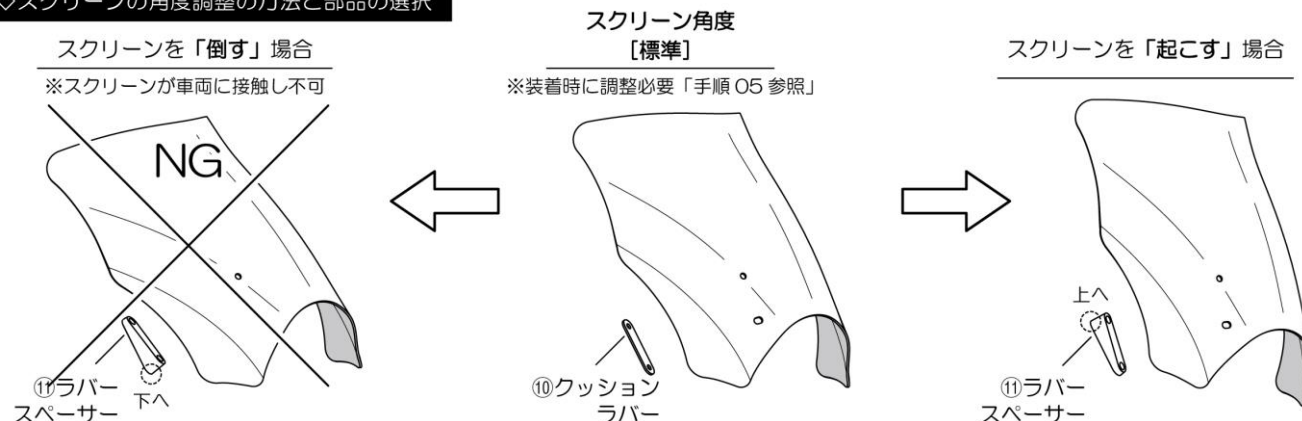
◇ブラケットの取り付け



03. スクリーンの角度と部品の選択

- イラストを参考に①ブラストバリアーの角度と⑩クッションラバー、⑪ラバー Spacer の組み合わせを選択します。

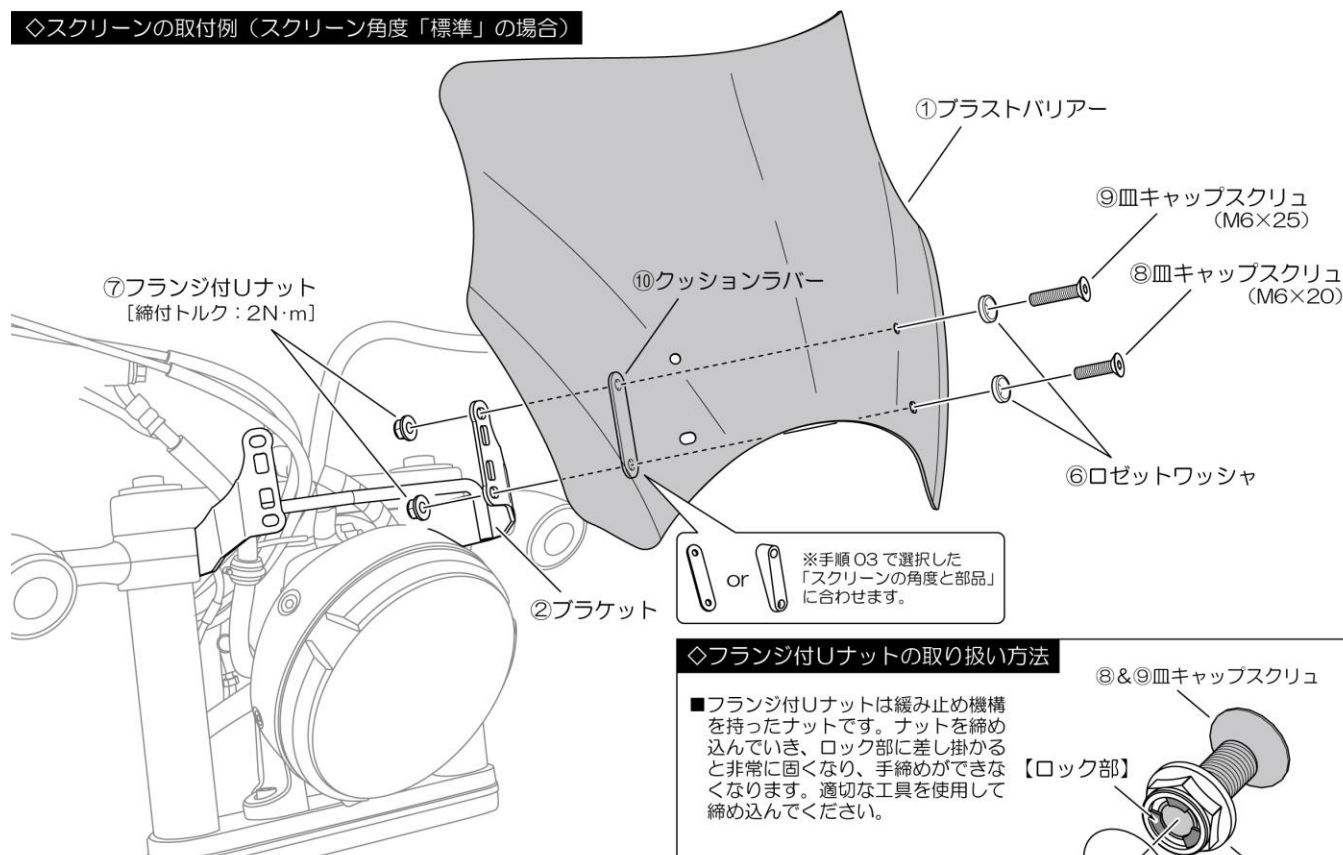
◇スクリーンの角度調整の方法と部品の選択



04. プラストバリアーの取り付け（スクリーン角度「標準」）

- ・手順 02 で取り付けした②ブラケットに①プラストバリアーを取り付けます。
- ・イラストを参考に⑥ロゼットワッシャ（M6）と⑧皿キャップボルト（M6×20/2本）、⑨皿キャップボルト（M6×25/2本）、⑦フランジ付Uナット（M6/4個）、⑩クッションラバー（2枚）を使用して仮組みします。
- ・各部に無理な力が掛からないよう締め付けて行き、所定トルクで固定します。

◇スクリーンの取付例（スクリーン角度「標準」の場合）



※このイラストはブラケットの左側に取り付けているイラストです。ブラケット右側も同様に取り付け、スクリーンに無理な力が掛からないよう締め付けてください。

05. ブレーキマスターの調整（スクリーン角度「標準」のみ作業）

- ・プラストバリアーとブレーキマスターの位置が近いので、ブレーキマスターをコントロールボックス側へ移動させます。
- ・イラストを参考にブレーキマスターの純正ボルトを順番に緩めて、3mmほど外側に移動させます。
- ・緩めた時と逆の手順で純正ボルトを所定トルクで締め付け固定します。

◇ブレーキマスターの移動



【ブレーキマスターの移動手順】

◇クランプホルダーを緩める
①⇒②の順番で純正ボルトを緩めます。

◇移動
ブレーキマスターをコントロールユニット側へ3mmほど移動させます。
※配線やホース、ケーブル類が無理に引っ張られていないか、ブレーキレバーを移動させた際にどこかに接触しないか確認してください。

◇クランプホルダーを締め付ける
②⇒①の順番で純正ボルトを締め付けます。

※スクリーンを「起こす」を選択の場合は本作業は不要です。
次の手順へ進んでください。

06. 点検作業

- ・ハンドルを左右にきって接触する部分がないか、ケーブル類やスロットルなどがつぶされたり無理に引っ張られていないか、運転操作に影響がでないか各部を点検してください。異常がなければ車両の固定を解除して作業は終了です。

実証JASDAQ上場

株式会社

デイトナ

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <https://www.daytona.co.jp>

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで

転載
禁止

本取扱説明書の内容の一部、または全ての無断転載を禁止